

令和7年度職員採用選考試験
保健師 専門記述試験

＝ 課題 ＝

○難病対策

A保健所は2市を管轄する中山間地域の保健所です。あなたは、その保健所で難病対策を担当することになりました。管内は、高齢化率も高く、面積も広大であることから交通の課題や医療・福祉分野の課題も多い地域です。保健所管内の概況を踏まえて、次の3つの設問に答えなさい。

【A保健所管内の概況】

管内人口	82,540人
高齢化率	42.3%
医療について	中核医療機関（400床）が管内に1か所 診療所は21か所（うち往診対応は5か所） 訪問看護ステーションは4か所 難病患者の多くは1時間程度をかけて県中心部の病院へ通院している
介護について	介護に関わる事業所 31か所
特定医療費（指定難病） 承認者数	621人 ※神経・筋疾患は153人 そのうち筋委縮性側索硬化症（ALS） 8人
保健所で実施している 難病対策	特定医療費（指定難病）申請窓口であり、患者や家族との面接を実施 難病患者・家族からの相談及び家庭訪問の実施 年1回程度、疾患を限定した難病相談会の実施

- (1) 保健師として難病対策を推進するうえでどのようなことから始めますか。
また、そのために必要な視点は何ですか。
- (2) A保健所では在宅療養中の医療依存度の高い難病患者が、以前と比べて増加しており、特定医療費申請のため来所した患者Bさんや地域の医療や福祉関係者からは次のような話を聞くことができました。

（裏面に続く）

難病患者Bさん

「筋委縮性側索硬化症（ALS）と診断されたばかりである。同じ病気の患者さんはどのように生活しているのか。このまま家で療養したいができるのだろうか。夫婦2人の生活で今後が不安である。」

主治医

「今は日常生活に支障がないが、今後病状が進み、介護が必要になったときに身近な地域で支援してもらうことが必要になってくる。患者さんが住んでいる地域のことがよくわからないが、どこに相談したらよいか。」

地域の訪問看護師

「最近、人工呼吸器や胃ろうなど医療的ケアの必要な患者が増えている。訪問していると自宅で療養することをためらって入院を続けている人がいると聞く。できるだけケアしたいのだが。」

これらを踏まえて、患者Bさんを保健師としてどのように支援しますか。

また、難病患者を支えるための地域包括ケアシステムを構築するにはどのような取り組みを行いますか。それぞれについて述べなさい。

- ① 患者Bさんへの個別支援について
- ② 地域包括ケアシステム構築への取り組みについて

- (3) 筋委縮性側索硬化症（ALS）など人工呼吸器を装着した医療依存度の高い難病患者は、災害発生に備えて避難行動要支援者個別避難計画を策定しておく必要があります。どのような視点を持って、計画を立案しますか。